

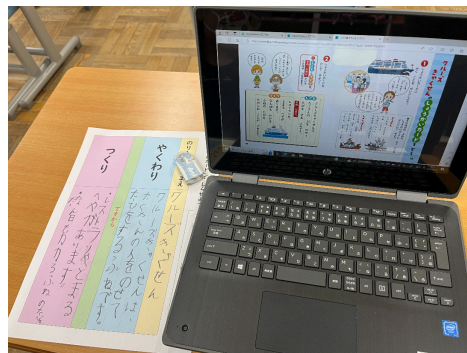
Yomokka!活用事例

留萌市立緑丘小学校

【1年生/国語】

『Yomokka!』を使って学習資料の貸し借り時間を短縮。その分じっくり読んだり、調べたりできる

留萌市立緑丘小学校では1年生国語「はたらくじどう車」、「『のりものカード』でしらせよう」の時間に『Yomokka!』を活用しています。「じどう車ずかんをつくろう」シリーズ（ポプラ社）を読んで「のりものカード」を作る授業の様子について、織田美奈先生に伺いました。



- ・所在地 北海道留萌市
- ・学年 1年生
- ・全児童数 約150名
- ・内容/用途 国語 はたらくじどう車 「のりものカード」でしらせよう

一人一人に学習資料が行き渡る。それぞれのペースで「のりものカード」を作っていく

授業のねらい・工夫

- 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えることができる
- 見通しをもって「のりものカード」を書こうとすることができる。

授業でやってみたこと

- 知らせたい乗り物を決める
- 「やくわり」と「つくり」をメモにまとめる
- メモをもとに「のりものカード」を書く
- 友達と読み合う



「じどう車ずかんをつくろう」シリーズ（ポプラ社）は、『Yomokka!』に全6巻掲載中

『Yomokka!』を使ってみて

学校の図書室にも本はありますが、冊数に限りがあります。これまで「はたらくじどう車」、「『のりものカード』でしらせよう」の授業では本を読む順番待ちが発生し、子どもたちが乗り物を選ぶまでに時間がかかってしまうなど、活動が難しいところがありました。今回の授業では『Yomokka!』を使って一人一人が端末で本を読むことで、全員同時進行での活動ができました。「じどう車ずかんをつくろう」シリーズ（ポプラ社）にはたくさんの種類の車が紹介されていて、子どもたちは興味を持って読んでいました。「しごと」「つくり」が分かりやすくまとまっているので、文を書くことが苦手な子どもも楽しく学習できたようです。学習のゴールとして「のりものカード」にまとめましたが、絵を描くときには資料のイラストを拡大表示して参考にしながら、とても上手に描くことができました。授業後、子どもたちからは「たくさんの車が載っていて、楽しかった」「パソコンで自分で調べられるので良かった」という声がありました。『Yomokka!』を使ったことで授業をスムーズに進めることができ、端末の活用が増え、学習の幅が広がったように思います。



自分のペースで知りたい自動車を選び、調べることができた

「のりものカード」してしまおう

のりもの名まえ	クルーズ客船
やくわり	クルーズ客船は、たくさんの人をのせてたむかすつうしなです。
つくり	・レスランやとまるへやがあります。 ・船の自動機がいます。

クルーズ客船	クルーズ客船は、たくさんの人をのせてたむかすつうしなです。
--------	-------------------------------

「のりものカード」してしまおう

のりもの名まえ	パトロールカー
やくわり	警察や消防が、まわりの見まわつてつうしなをします。
つくり	・のぼせるコンテナ ・マイク ・うしろを照らすたまたま

パトロールカー	パトロールカーは、警察や消防が、まわりの見まわつてつうしなをします。
---------	------------------------------------

子どもたちが作成したメモと、「のりものカード」